

東日本大震災を踏まえた緊急提言の骨子(たたき台)

はじめに

この提言は、東日本大震災を踏まえた今後の高速道路政策のあり方について、これまでの本委員会における各交通機関からのヒアリング、議論等を踏まえ、東北地方の産業の創生という観点も含め、緊急的にとりまとめたものである。

この提言の内容は、東日本大震災の被災地だけではなく、首都直下や東海・東南海・南海地震などの大震災が想定されている災害大国日本における、今後の道路政策全般のあり方の指針として、活用されることを期待。

1. 現時点の総括と教訓

【主な評価すべき点】

- 広域的な視点から復旧活動を展開し、早期に輸送路を確保
(地方整備局等の国の出先機関が広域的に機能)
- 過去の教訓を活かした整備(ルート、構造)などが奏功
- 高速道路のトラック輸送をはじめ、様々な交通モードがその特性に応じた輸送を展開するとともに、高速バスが鉄道を代替する等の機能を発揮
- 副次的な防災機能(防災拠点、避難場所、浸水拡大防止等)を発揮した例も存在

【主な課題】

- ミッシングリンク等により高速道路が本来果たすべきネットワークとしての機能に課題
- 災害時も想定した物資輸送の拠点となる港湾・空港などとの連絡確保に課題
- 国・地方公共団体などが連携した被災者や物資輸送者への交通関係情報の提供に課題
- 物資輸送等のための燃料供給に課題

2. 東日本大震災を踏まえた今後の道路政策に関する緊急提言

この提言の内容については、東日本大震災の被災地の早期復旧・復興とともに、今後の首都直下、東海・東南海・南海地震などの大震災が想定される地域の安全を確保するため、速やかに講じられることを期待。

(1) 新たな防災の発想に基づく取組が必要

- ・ 今後は、「防災対策」と「減災対策」の二段階での考え方を取り入れた、新たな防災の発想に基づく取組が必要
- ・ 道路の有効活用の観点を含め、ハードとソフトを効果的に組み合わせた総合的なシステムとすることが重要
- ・ 今回の大震災で有効に機能した知見をはじめ、最新の技術を駆使した新たな対策まで、早期具体化と周知が必要
- ・ 高速道路本体も、海外の例を参考とした路肩や車線数の扱いなどの柔軟化や、今後想定すべき災害への必要な基準の整備が必要
- ・ 今後、大震災が想定される地域を中心に、現在調査中等の事業の道路構造やルート等の再点検が必要

(2) 他の交通モードとの連携強化、防災面から他の施設との連携などが重要

- ・ 交通モードの多様性を維持することが重要
- ・ 高速道路等と各交通モードとの連携の再点検、強化が必要
- ・ 防災機能や避難場所等、他の施設との積極的な連携を進めることが必要

(3) 戦略的かつ効果的なネットワーク強化が必要

今後の高速道路ネットワーク整備については、国民生活の安全性の向上と、今般の被災地域を中心とした産業の創生等の観点から、地域の復興計画とも連携しつつ、戦略的かつ効果的に強化することが必要。

- ・ まずはミッシングリンクの解消が重要。特に、非常時に備えた多重性の確保や国際物流、アジアダイナミズムを意識し、太平洋側と日本海側を結ぶネットワークの強化が必要

- ・ 高速道路とこれに準じる一般国道等が補完し合いながら進めることが重要。主要な市街地や空港・港湾など交通拠点とのアクセスの確保によるネットワークの効果向上や、簡易ICの増設による一般国道等との連携強化など、ネットワーク機能の向上が必要
- ・ 高速道路について、必要なものについては、これまでの計画を前倒しして着工・推進することも含めた整備のスピードアップと、整備目標の明確化が重要
- ・ 今後の事業評価については、従来の「渋滞解消等を図るネットワーク」の考え方に加え、「災害時に地域の孤立化等を防ぐネットワーク」の考え方も取り入れた評価手法の充実が必要

(4)その他

- ・ 今後の大規模災害に備え、今回の経験を伝承するとともに、災害や危機管理に対応する人材育成や技術開発の推進が重要
- ・ 道路種別、道路管理者の別に関わりなく、情報の共有・提供を含め、管理体制を強化することが必要
- ・ 高速道路に埋設するICTを活用した、高齢化への対応や遠隔地医療などソーシャルネットワークとしての役割も重要
- ・ 産業創生等を牽引するためには、観光が重要であり、特に観光客が高速道路を利用しやすい環境整備や高速道路と一般道路の空間活用のあり方についての地域戦略が必要
- ・ 大規模災害発生時には、復旧・復興を加速するために、道路交通状況を踏まえつつ、物流コストの引下げ等に資する施策を実施することも重要
- ・ 今回の大震災は、国の総力を挙げた対応が必要であり、国と地方あるいは官と民の役割分担や協力のあり方についての議論が必要